

千葉県松戸市牧野原中学校農業体験

福島県県南地方では、東日本大震災以降、県外の小中学校による農業体験が大きく減少しましたが、このたび千葉県松戸市立牧野原中学校 2 年生 170 名が平成26年度林間学校の一環として、平成 26 年 9 月 20 日に農業体験を白河市表郷地区で実施しました。

しらかわ広域連携グリーン・ツーリズム推進協議会会長の滝田国男さんより、これから実施する農業体験についての作業上の注意点などを説明、その後、3班に分かれて稲刈り、さつまいも掘り、白菜の定植を行いました。農業体験後に白河関の里イベント広場に移動し、クラス毎(5組)に分かれて、おにぎりとお味噌汁を作りました。



稲刈り体験



さつまいも掘り作業



白菜の定植作業



調理実習 おにぎりとお味噌汁を作り



感想発表

農業体験を終えた生徒からは「米作りの一部の体験だったが、とても貴重な体験が出来た。」「白菜定植は楽しかったが、作業はとても大変だと実感できた。」「さつまいも掘りは、土が固く大変だったが、大小様々なさつまいもが出てきたときはうれしかった。」「自分で握ったおにぎりはとても美味しかった。」等の感想を聞け、大変有意義な体験だったと思われます。

指導して下さった滝田さんからも「震災以降、首都圏から農業体験に県南地方(白河市表郷地区)へ来られたのは、牧野原中学校が初めてであり、とてもうれしく思う。今後、農業体験などのためにご家族でこちらに来る機会が増えてくることを期待しています。」と話されていました。

震災以降、県南地方で農業体験を実施したいと希望する学校がでてきたことは、とても喜ばしいです。今後も、県南管内により多くの学校が農業体験に訪れることができるよう体験メニューの充実と受け入れ体制の確立を図って行きたいと思ひます。